

# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所

上場取引所

TEL 03-6860-5701

東

コード番号 3750

URL https://www.cytori.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 星野 喜宏

(氏名) 藤村 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 無

(百万円未満切捨て)

決算説明会開催の有無 無

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		高営業利益経常利益		J益	親会社株主に帰属する 四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	39	91.6	239		233		242	
2024年3月期第1四半期	472	13.1	137		169		161	

(注)包括利益 2025年3月期第1四半期 242百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 161百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.16	
2024年3月期第1四半期	18.07	

# (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2025年3月期第1四半期	5,365	2,533	43.2	259.53
2024年3月期	5,816	2,795	44.3	288.89

(参考)自己資本

2025年3月期第1四半期 2,317百万円

2024年3月期 2,579百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年 3月期の連結業績予想(2024年 4月 1日~2025年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,284	17.7	84		87		103	25.4	11.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

サイトリ・セルセラピー株式

新規 3 社 (社名) 会社、株式会社アニマルセ 除外 社 (社名) ラピー、一般社団法人共生 除外 社 (社名)

会

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	8,929,419 株	2024年3月期	8,929,419 株
2025年3月期1Q	1,150 株	2024年3月期	1,150 株
2025年3月期1Q	8,928,269 株	2024年3月期1Q	8,928,444 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって 予想値と大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日)におけるわが国経済は、所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調が見られたものの、円安等に起因する資源価格の高騰や物価の上昇等により先行きは依然不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は39百万円(前年同四半期91.6%減)、営業損失は239百万円(前年同四半期営業損失137百万円)、経常損失は233百万円(前年同四半期経常損失169百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は242百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失161百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 〔メディカル事業〕

当第1四半期連結累計期間におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスIIIとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ販売しております。当第1四半期連結累計期間のメディカル事業の売上高は26百万円(前年同四半期2.4%増)となり、営業損益は、営業損失114百万円(前年同四半期営業損失157百万円)となりました。

#### [リアルアセット事業]

当第1四半期連結累計期間におけるリアルアセット事業は、前事業年度においてホテル不動産及び運営会社である㈱ホテル金沢を売却いたしました。また、㈱サテライト名古屋の場外車券売場を廃止いたしました。これらの影響により、当第1四半期連結累計期間のリアルアセット事業の売上高は12百万円(前年同四半期97.2%減)となりました。営業損益につきましては、営業損失34百万円(前年同四半期 営業利益61百万円)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は4,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

この結果、総資産は5,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ450百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は360百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円減少いたしました。これは主に借入金返済によるものであります。固定負債は2,471百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円減少いたしました。(納資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.2%(前連結会計年度末は44.3%)となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

# (1) 四半期連結貸借対照表

(畄位		7 m)	
( 111 / 11 / 11	•	<del>_</del> H )	

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
予度の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 038, 227	600, 680
売掛金	58, 332	20, 078
商品	103, 534	110, 26
その他	227, 590	279, 14
流動資産合計	1, 427, 684	1, 010, 16
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	980, 937	971, 16
土地	3, 170, 055	3, 170, 05
その他(純額)	66, 544	66, 19
有形固定資産合計	4, 217, 538	4, 207, 40
無形固定資産		
その他	21, 258	18, 05
無形固定資産合計	21, 258	18, 05
投資その他の資産	149, 853	129, 82
固定資産合計	4, 388, 649	4, 355, 28
資産合計	5, 816, 334	5, 365, 45
負債の部	3, 210, 201	3, 303, 10
流動負債		
短期借入金	70,000	
1年内返済予定の長期借入金	54, 685	53, 84
その他	411, 498	306, 57
流動負債合計	536, 184	360, 41
固定負債		201, 22
長期借入金	2, 347, 079	2, 334, 40
匿名組合出資預り金	319	_, · · · _, · ·
繰延税金負債	125, 108	125, 00
その他	12, 056	12, 22
固定負債合計	2, 484, 563	2, 471, 63
負債合計	3, 020, 747	2, 832, 04
性資産の部		, ,
株主資本		
資本金	100, 000	100, 00
資本剰余金	2, 939, 268	2, 939, 26
利益剰余金	$\triangle 458,765$	$\triangle 720,94$
自己株式	$\triangle 1,485$	△1, 48
株主資本合計	2, 579, 016	2, 316, 83
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	30
その他の包括利益累計額合計	276	30
新株予約権	211, 501	211, 50
非支配株主持分	4, 791	4, 76
純資産合計	2, 795, 586	2, 533, 40
	=, .03,000	=, 030, 10

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日
<b>4</b>   <del>5</del>	至 2023年6月30日)	至 2024年6月30日)
売上高 売上原価	472, 475	39, 513
元上原恤 売上総利益	71, 383	19,070
販売費及び一般管理費	401, 092 538, 222	20, 442
就元貴及○一級百座資 営業損失(△)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	259, 768
営業外収益	△137, 130	△239, 326
国		10,000
その他	6, 801	19, 000 6, 498
営業外収益合計	6,801	25, 498
営業外費用	0,001	23, 430
支払利息	38, 830	18, 402
その他	13	772
営業外費用合計	38, 844	19, 175
経常損失(△)	△169, 172	△233, 003
特別損失		2500,000
設備撤去費用		10,030
その他	274	-
特別損失合計	274	10,030
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失 (△)	△169, 447	△243, 033
匿名組合損益分配額	△3, 510	△867
税金等調整前四半期純損失(△)	△165, 936	△242, 166
法人税、住民税及び事業税	495	503
法人税等調整額	△5, 167	△120
法人税等合計	△4, 672	382
四半期純損失(△)	△161, 264	△242, 548
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	28	△24
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△161, 292	△242, 524

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△161, 264	△242, 548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	26
その他の包括利益合計	31	26
四半期包括利益	△161, 232	△242, 522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161, 261	△242, 497
非支配株主に係る四半期包括利益	28	$\triangle 24$

# (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

J( ) C ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	52,637千円	13,334千円
のれんの償却額	11,483千円	<b>一</b> 千円

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	` '	17. 1 1 1 1 /			
	報告セグメント				四半期連結
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計	その他 (注) 1	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
メディカル	26, 354	_	26, 354	_	26, 354
ホテル業	_	337, 238	337, 238	_	337, 238
不動産業	_	58, 533	58, 533	_	58, 533
顧客との契約から生じる収益	26, 354	395, 771	422, 125	_	422, 125
その他の収益	_	50, 349	50, 349	_	50, 349
外部顧客への売上高	26, 354	446, 121	472, 475	_	472, 475
セグメント間の内部売上高又は振 替高	_	_	_	_	_
計	26, 354	446, 121	472, 475		472, 475
セグメント利益又は損失(△)	△157, 330	61, 669	△95, 660	△41, 469	△137, 130

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△41,469千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計	その他 (注) 1	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
メディカル	26, 982	_	26, 982	_	26, 982
ホテル業	_	12, 530	12, 530	_	12, 530
不動産業	_	_	_	_	_
顧客との契約から生じる収益	26, 982	12, 530	39, 513	_	39, 513
その他の収益	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	26, 982	12, 530	39, 513	_	39, 513
セグメント間の内部売上高又は振 替高	_	_	_	-	_
計	26, 982	12, 530	39, 513		39, 513
セグメント損失(△)	△114, 511	△34, 988	△149, 500	△89, 826	△239, 326

- (注) 1 セグメント損失の調整額△89,826千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、 主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループが属する研究開発型企業は、一般的に多額の研究開発資金を必要とし、また研究開発費用の負担により長期にわたって先行投資の期間が続きます。この先行投資期間においては、継続的に営業損失を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなる傾向があります。当社グループも継続的に営業損失を計上しており、現状では安定的な収益源を十分には有しておりませんので、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。このような状況の解消を図るべく、医療機器の販売を中心とするビジネスモデルから細胞治療を主軸とした医療サービスへのシフトを加速し、収益の改善に取り組んでおります。

資金面につきましては、当第1四半期連結会計期間末において、600百万円の現金及び預金を保有しており、当面の事業資金を確保しておりますが、安定的な収益源を確保するまでの期間においては、保有不動産の売却を進めるとともに必要に応じて適切な時期に資金調達を行い、財務基盤の強化を図る方針であります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。